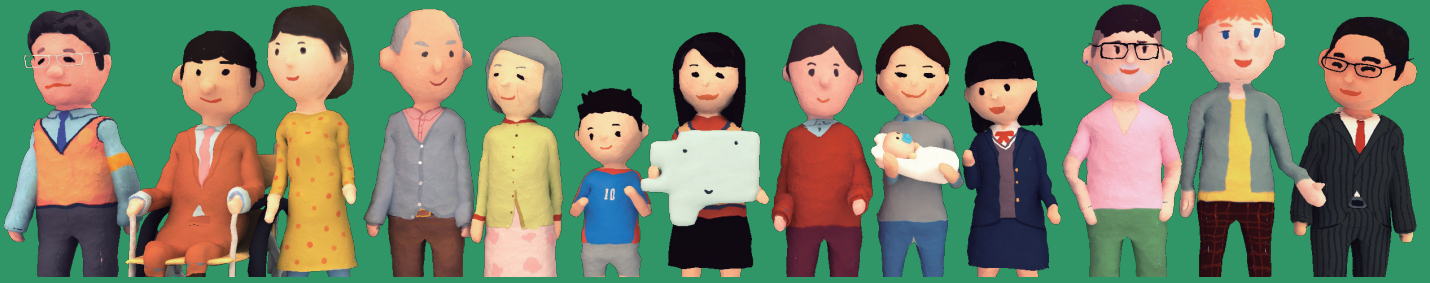


えんがわファンドのサポーター会員になろう



調布のまちを あなたが変わる

「調布で活動する団体を資金面から応援したい」

地域や社会の課題を解決するために、調布で活動するボランティアグループ・市民活動団体等を応援する助成金のしくみが「えんがわファンド」です。調布のまちがより豊かになるために、より多くの団体が新たな活動に取り組めるよう応援しませんか？



調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で 助成する市民活動支援センターのプログラムです

えんがわファンド(基金)は、調布のまちが暮らしやすくなるための活動や、社会課題解決のための活動、先進的な活動などを行っている調布のボランティアグループ・市民活動団体等へ助成しています。

このファンドをきっかけに、助成先団体が新しい活動にチャレンジすること、他の団体と出会い新たなつながりが生まれることを意図しています。

助成先団体は、このファンドによって地域がより豊かになるよう、活動成果で調布のまちに還元しています。

ぜひ、あなたもえんがわファンドのサポーター会員として、調布のまちを変えていきませんか？

えんがわファンドの助成金額と財源

助成目標額：年間100万円

助成金額：1団体最大10万円(最長3年間)

助成先団体数：年間約15～25団体

(助成先団体の情報を知りたい方は市民活動支援センターまでお問合せください)

財源：主に皆さまからのサポーター会費(年額3,000円)です。その他、使用済の切手・カード・外国コイン・入れ歯のリサイクル益金や、毎年開催しているチャリティーイベント「ちょうふチャリティーウォーク」の参加費(1人参加につき500円)も財源となっています。また、税制優遇措置を受けられる指定寄付も受付けています。

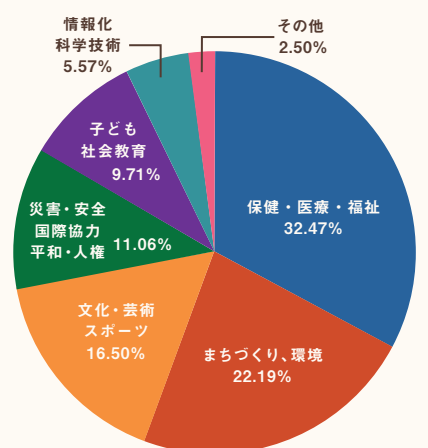
えんがわファンドは多様な活動に活かされています

2006年に始まったえんがわファンドは、2017年までの12年間で延べ約200団体へ総額1,000万円以上を助成し、ボランティアグループ・市民活動団体等が調布のまちをより豊かにする為の活動を応援してきました。市民の自由な発想による活動は多種多様で、助成先団体のジャンルも多岐に渡っています。

えんがわファンド分野別助成内訳(2006～2017年)

助成分野	団体数	助成額	構成率
① まちづくり、環境に関する活動	46団体	2,302,293円	22.19%
② 保健・医療・福祉に関する活動	64団体	3,368,644円	32.47%
③ 子ども、社会教育に関する活動	23団体	1,006,816円	9.71%
④ 文化・芸術・スポーツに関する活動	27団体	1,711,339円	16.50%
⑤ 災害・安全、国際協力・平和・人権に関する活動	21団体	1,147,092円	11.06%
⑥ 情報化・科学技術に関する活動	12団体	577,700円	5.57%
⑦ その他	4団体	260,000円	2.50%
合計	197団体	10,373,884円	100.00%

分野別助成実績(2006～2017年)



サポーター会員のみなさん、ありがとう!

えんがわファンドで夢を実現した団体からのメッセージ

調布市内に住む中学生～20代による、長く続く東日本大震災被災地応援を目指して立ち上がった団体です。東北との交流を行っていましたが、活動資金が乏しいのが悩みでした。

TOHOKU



えんがわファンドの助成金を活用して調布と東北の「若者交流ツアー」を実施しました!



えんがわファンドをきっかけに市内のイベントに参加し、活動場所を広げることができました。新たなつながりと仲間を得て、今後に向けての足場が固まりました。



災害

復興の未来へ行こう!
ワカモノプロジェクト

「誰もが街の一員として自分の街に参加できるようにしたい」という思いから、街の清掃活動や緑化活動を実施してきました。花壇作りの次の展開として、マンション養蜂を計画しました。



えんがわファンドの助成金を活用して、ミツバチと巣箱をレンタルし、養蜂をはじめました!



ミツバチの飼育を通して食・農・教育・環境問題のネットワークが広がり、子どもの環境教育にも取り組むことができました。ハチミツを商品化することで、商店街との連携も始まりました。



まちづくり、環境

グッドモーニング仙川!
プロジェクト

音声ガイド付き、日本語字幕付きDVD映画(バリアフリー映画)の体験会を目的に発足しましたが、新しいバリアフリー映画のDVDを自前で調達するのに苦労していました。



えんがわファンドの助成金を活用してバリアフリー映画のDVDを購入しました!



バリアフリー映画の新しいDVDを30本以上購入することができ、現在では163本が貸出可能となりました。毎月約85人の視覚・聴覚・身体障がい者と高齢者が体験会に参加し、映画を楽しんでいます。



福祉

DEMAE調布

サポーター会員になるには

●サポーター会費●

年額:1口3,000円



会員期間:ご加入日(4月1日以降)から翌年の3月31日まで

●納入方法●

窓口

受付場所:調布市市民プラザあくろす 市民活動支援センター
開館時間:平日・土日・祝日8:30~22:00
※毎月第3月曜及び年末年始は休み

郵便振込

口座番号:00190-9-583840
加入者名:社会福祉法人調布市社会福祉協議会
※通信欄に必ず「サポーター会費」とご記入下さい

1

年に1度開催する「えんがわファンド交流会」の招待状が届きます

2

機関誌『えんがわだより』が毎月1回届きます

3

センターが主催する講座の参加費、電話代行サービスの利用料が20%OFFになります

サポーター会員が得られる6つの特典

4

センター内にあるフリースペース「はばたき」が2カ月前から予約できます

5

センター内にあるサポーター会員専用の広報スペースが使用できます

6

ボランティアや市民活動情報の提供を定期的に受けられます(希望者のみ)

調布市市民プラザあくろす 市民活動支援センターとは

市民が主役のまちづくりを目指して、市民参画による運営(調布市から社会福祉法人調布市社会福祉協議会が受託)を行なっています。

「まちのえんがわになりたい」をコンセプトに、気軽な出会いの中から新たな発見・活動が生まれることを意図して、えんがわファンドのほかにも多種多様な市民の活動を応援しています。

〒182-0022
調布市国領町2-5-15 コクティ2階
TEL 042-443-1220 FAX 042-443-1221
E-MAIL npo-center@ccsw.or.jp

発行年月日
2017年11月15日

調布市市民活動支援センター

検索

センターで行っていること

えんがわファンド

サマーボランティア

NPOの運営や設立相談 他団体との協働の支援

福祉体験の出前講座

団体の情報発信サポート

災害ボランティアセンター

機関誌『えんがわだより』

えんがわフェスタ

ちょうふチャリティーウォーク

NPO運営講座

フリースペース「はばたき」

やあやアドリームオールスターズ



※NPO…ボランティアグループ・市民活動団体・NPO法人など非営利団体のこと